

Rotary International  
2009~2010



ロータリーの未来は  
あなたの手に

# 中村ロータリークラブ

## 週報(2009~2010)

会 長/佐 竹 義 典	創 立/昭 和 3 8 年 1 0 月 2 日
幹 事/荒 井 淨	例会日/水 曜 日 1 2 : 3 0 ~ 1 3 : 3 0
会報委員長/黒 石 伸 二	例会場/新 ロ イ ヤ ル ホ テ ル 四 万 十 事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商会館2F
	TEL(0880)35-4551 FAX(0880)35-4553
	●ホームページ <a href="http://www.nakamura-rc.com/">http://www.nakamura-rc.com/</a>

週報 No.2131

第2262回 平成21年7月29日(曇り)

本日のプログラム：ゲストスピーチ「四万十またたびプロジェクト」  
8月5日のプログラム：高知第Ⅱ分区ガバナー補佐 山崎啓輔様  
8月12日のプログラム：休会

### 【会長挨拶】 佐竹会長

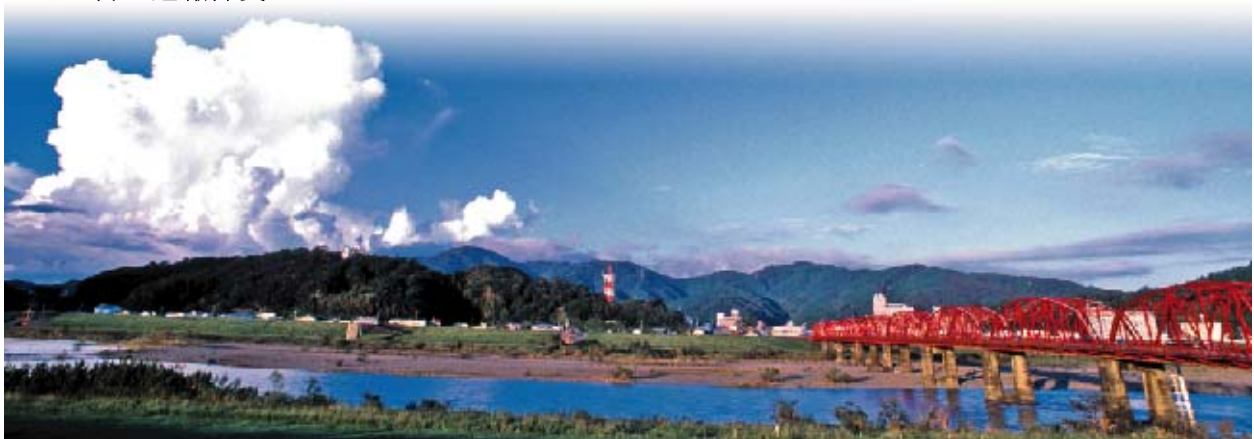
・ビールのおいしい季節となりました。  
ちまたでは、キリンとサントリーの経営統合が話題となっておりますが、国際競争を勝ち抜く狙いがあるようです。サントリーの宣伝部にいた開高 健が「肉体の疲労は酒よりも甘いものが欲しくなる。」が「おつむと心がくたびれると酒が欲しくなる。」といったそうです。あまり飲まない私には、のんべえの理屈のような気がします。

### 【幹事報告】 荒井幹事

- ・ロータリーレート変更のお知らせ  
8月1日より1ドル=94円
- ・四万十RCより09-10年度クラブ計画書、週報拝受

### ・ガバナー事務所より

- ①分区米山協議会・懇親会開催案内  
9月5日(土)15:00~三翠園ホテル
- ②世界社会奉仕プロジェクトの案内  
バングラデシュ人民共和国・3280地区、  
中学校再建プロジェクト参加協力の案内
- ③「友」インターネット速報 』391  
・安芸RCより 8/12(水)例会休会  
・土佐くろしお鉄道中村・宿毛線を守るネットワーク会議より第6回ネットワーク会議開催の案内 8/18(火)  
14:00~中央公民館
- ・中村、具同地区区長会より  
第12回「愛犬のフン害防止運動」連絡会について8/17(月)13:00~  
幡多福祉保健所



## ● 本日のプログラム

### ゲストスピーチ 四万十また旅プロジェクト 伊与田 真哉会長 田村 吉教副会長

#### ■田村 吉教副会長

3年前に経済産業省の採択を受け、我々四万十川流域の業者、事業者が集まって四万十また旅プロジェクトを立ち上げました。広域観光を主体にして新しい観光を目指していこうということで始まりました。

#### ・観光客の現状

高知県の宿泊客は年間約175万人で、観光客の流動人口は約300万人です。隣の愛媛県の宿泊客は年間約250万人で、観光客の流動人口は高知県の倍の約600万人といわれています。

#### ・首都圏観光と地方観光の違い

首都圏はテーマを持たせた遊び方。ハード面で見せる「感性観光」で、地方は独自の文化を反映させた食・特産品・町並みを活かした「文化観光」といわれています。

#### ・全国観光地満足度

高知県は、徳島県の1000万人、香川県の1200万人と比べてみても分るように300万人と観光客が少ない。しかし、来たお客さんが満足して帰るということでは、沖縄県に次いで全国第2位です。イメージどおりで、非常に満足していただいたということです。



スライドにて説明の田村副委員長

ここを磨いていけばもっと観光客も増えてくるのではないかと考えております。

#### ・新しい観光の目的

一昔前は温泉が主体の観光客でしたが、最近はおいしいものを食べるのが宿泊旅行の目的となっています。そして、さらに新しい観光目的が始まっています。「るるぶ」=みる・食べる・遊ぶから「新るるぶ」=交わる・体験する・学ぶが、新しい観光の目的のひとつになってきました。旅先の人と交流し、体験し何かを学びたいと思っている人が多くなっているということです。

#### ・広域観光の重要性

観光客は、点で動かず面で動いていきますから、広域観光でとらえなければなりません。そのためには、広域の中で約束事が必要です。「地域の素材、地域



の人を知ること。地域の悪口を観光客に言わないこと。地域同士ネットワークで繋がること。」などのルールに基づいて広域観光を展開しております。

このように、四万十また旅プロジェクトは、四万十川に拠点を作って地域の人達を巻き込んだネットワークを結んでいくことをコンセプトにして、結果的には人との繋がりで新しい観光産業をつくらうということです。

#### ■伊与田 真哉会長

四万十また旅プロジェクトは、3年目を迎えました。プラットホームになっている拠点をベースにして、地域の人を商品として売っていかこうと考えています。例えば、四万十川で川漁の体験をしたいというニーズが非常に多い。そこで川漁師さんのところにお客さんを紹介すると、川漁師さんはサービス業ではありませんので、うまくかみ合わない現状があります。地域の人とお客さんを結びつける観光のスタイルを成り立たせるには、コーディネイトする人が必要となります。コーディネイト業に力を入れていくことで、地域



の人を商品として売っていきたいと考えています。

また、基本的に体験型をベースにし、今までのような部分的な体験型から、一から十まですべてを体験していただけるようにすることで、四万十のファンになっていただきリピート性を高めたいと考えています。

四万十はどうしても「遠い」というイメージがあります。さらに、列車で来られた方がこちらで自由に動きづらいことなど、道路網の整備を含めた様々な仕組みづくりも必要です。そしてなによりも、四万十川が汚れています。川がきれいであることが、四万十川の最大の魅力だと思いますので、環境の整備にも働きかけていきたいと考えています。

四万十また旅プロジェクトをより多くの方に知っていただいて、さらに売り出していきたいと思っております。本日は、ありがとうございました。



## クラブ奉仕委員会 新年度活動計画の報告

### ■松倉広報・IT委員長

ロータリーの理念と日ごろの活動を地域の人達に理解していただくための広報活動を行っています。そのために、報道機関や広報「しまんと」などにRC活動をPRする一方、クラブのホームページに活動状況を掲載します。

### ■石井環境保全委員長

清流・四万十川の環境保全に主眼を置いて取り組みます。具体的な活動方針は、第47期のクラブ計画書にある通りですので、目を通しておいてください。現在、エコの一環で、スーパーの買い物袋削減が叫ばれています。ただ、石油精製の課程で出る「ゴミ」のようなものでこの袋は作られているので、一概に、買い物袋をなくすのがいい方法とは言えないという説もある。機会を見て、フォーラムでも開ければ、と考えています。

### ■明神プログラム委員長

魅力ある例会づくりのために、タイムリーなプログラムを計画していきます。会員の職業奉仕や社会奉仕についてのスピーチはもちろん、各委員会と連携して、地域振興や時勢にマッチしたタイムリーなゲストスピーカーを招き、理解を深めてもらえるようにします。

#### 【会員発言】大杉（幸）会員

・先月の13日より坐骨神経痛で動けなくなり、市民病院に3週間、石井先生のところでリハビリに3週間お世話になり、おかげさまで完治に向かっていきます。お見舞いどうもありがとうございました。  
元気になりましたので、また皆様と親睦を深めていきたいと思っております。  
どうぞよろしくお願い致します。

#### 【ニコニコ箱】

佐竹会長：大杉前幹事復活おめでとうございます。又ゴルフ教えてください。

白木会員：雑誌委員会より「友」7月号横書き5頁「ロータリーの未来はあなたの手の中に」

稲田会員：田中さん、先週はご迷惑をおかけしました。

大杉(幹)会員：米山記念奨学会に多額の特別寄付を頂きました。ありがとうございます。

大杉(幸)会員：長期の入院で皆様にご迷惑、ご心配をおかけしました。

申し訳ありません。これからもよろしくお願ひします。

大塚会員：大杉会員の無事復帰を祝って！

本日のゲスト田村君のスピーチ、ご苦勞様です。

#### 【出席報告】

- ・会員総数/45名
- ・本日の出席/33名 84.09%
- ・先週の訂正 M6 75.00%→90.91%



#### THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

私たち一人ひとは、いわば過去を未来へとつなぐ鎖の輪のような存在で、大いなるロータリーという伝統の一部を成しているとなることが出来ます。

2009-10年度国際ロータリー会長 ジョン・ケニー